

『感謝を込めて』

梶原学園 外国語指導助手(ALT)：カーター・フロスト

残念ながら、私は今月で梶原を離れることになりました。家族に急な事情ができ、予想していたよりもずっと早く日本を離れることになってしまいました。この「梶原サンシャイン・タイムズ」の第6回、そして最終回となる記事で、皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。

まず、梶原町そのものに感謝します。私の日本での新生活を支えてくださった皆さん、特に教育委員会の皆さんに感謝します。教育委員会の皆さんは銀行口座の開設や公共料金の手続き、車の購入など、必要なことすべてを助けてくれました。絶え間ないサポートと気遣いに心から感謝しています。委員会の皆さん、多くの町民の方々のおかげで、私は日本、そして梶原に心から歓迎されていると感ずることができました。

次に、梶原学園の先生方や職員の皆さんに感謝します。校長先生、教頭先生、諸先生方、そして事務職員の皆さん、新しく学校の一員となった私を温かく迎え入れてくださり、ありがとうございました。特に、一緒に授業を行い、教えるお手伝いをさせてくれた英語科の先生方には大変感謝しています。アメリカで教師をしていた私の目から見ても、梶原学園の先生方は最も勤勉で有能です。皆さんと一緒に働けたことは、本当に光栄でした。

そして第3に、3月に卒業した中学生の皆さんも含め、梶原学園のすべての生徒の皆さんに感謝をささげます。小学生の皆さんの溢れんばかりのエネルギーと好奇心のおかげで、どの授業も楽しく、やりがいのあるものになりました。そして中学生の皆さん、皆さんの勤勉さ、礼儀正しさ、創造性、そして時折見せてくれるひょうきんな姿が大好きでしたし、心から尊敬しています。本当に楽しい日々でした。いつか生徒の皆さんが日本を飛び出して、より広い世界を体験することを願っています。そして、学校で学んだ英語を使ってくださいね！

これほど早く去らなければならないのは、本当に残念です。もっと長く滞在したいと思っていました。昨年初めに外国語指導助手(ALT)に応募した際、5月になるまで梶原町に配属されるとは知りませんでした。正直なところ、日本の地方で暮らすことに少し不安もありましたが、この10カ月を過ごした今、他の場所でなくて本当に良かったと思っています。梶原に来られた私は、本当に幸運です。

アメリカに帰るにあたり、これが最後のメッセージです。
「皆さん、本当にありがとうございました！！」

— 梶原学園 外国語指導助手(ALT) カーター・フロスト



高知県立坂本龍馬記念館で撮った写真です。
梶原の人々も、坂本龍馬と同じような不屈の
精神と独創性を備えていると私は信じています。

(日本語訳：町 ALT 杉原ゆかり)